

問題番号 A E A

時間 50 分 100 点満点

第 1 回 一般入試問題

国語

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施時間は 50 分で、100 点満点です。時間配分に注意して解答してください。
3. 解答は解答用紙にていねいに記入してください。
4. 解答用紙・問題用紙両方に、受験番号、座席番号、名前を記入してください。座席番号は、机に貼ってある番号のことです。
5. 試験中は携帯電話の電源を必ず切ってください。
6. 私語や物の貸し借りなどは認めていません。困ったことがある場合は、手をあげて先生に相談しその指示に従ってください。

受験番号 _____ 座席番号 _____

名 前 _____

聖学院中学校

□ 一 次の問に答えなさい。

問一 次の漢字の読みを答えなさい。

- ① 借金を返済する
- ② これで合格は必至だ
- ③ 生存者の安否を確認する
- ④ それでは早速、始めよう
- ⑤ 枚挙にいとまがない
- ⑥ ラッキーなことが度重なった
- ⑦ 心地よい音色のパイプオルガン
- ⑧ だれにでも門戸を開く
- ⑨ 大臣を刷新する
- ⑩ 地図の縮尺を変える

問二 次のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 映画の情報をコクチする
- ② 彼のメンモクが立たない
- ③ 国外にツイホウされた
- ④ 言われたことをタメしてみた
- ⑤ 教会にツドウ人々
- ⑥ 中学生がタイショウの本
- ⑦ 教会のシズけさで祈る
- ⑧ 出題のイトを理解する
- ⑨ 海外でケンブンを広げる
- ⑩ 安く買えるキカク外の野菜

〔二〕 次の文章を読み、後の問に答えなさい。(、や。なども一字とします)

パパが『父と息子のふれあいサマーキャンプ』に参加を申し込んだのは、六月の終わり頃だった。パンフレットを取り寄せたのは、ママ。

「圭ちゃんもたまには思いっきり汗かいてみたら？ 男の子にとっていちばん大切なのは、たくましさなんだから」サイターの理屈だ。急にそんなことを言い出した理由も見当がつくから、よけいウゲーツとなった。

「圭太がそういうの嫌いだっていうのはわかるけど、ママね、松原先生の言うことにも①一理あると思うのよ」やっぱり。オバサン太りの松原先生の、腰のところが横にパンパンに張ったスカートが思い浮かんで、シャレじゃなくてウゲーツと吐きそうになった。

ぼくはクラスで一番勉強ができる。スポーツだって得意だ。ルックスにも自信がある。二月のバレンタインデーには、同級生はもちろん、五年生や六年生のおねーさんからもチョコをもらった。クールなところがカッコいい、と誰かのラブレターに書いてあった。だろーね。自分でも思うし、友だちもみんな「中田みたいじゃん」とうらやましがるし、ママだって去年までは「圭ちゃんは都会的な子だから」とよく自慢していた。

でも、五年生のクラス担任になった松原先生に言わせると、そういうのはコドモとしてサイテーなんだそう。

『3年B組金八先生』に憧れて教師になった松原先生は、クラスの団結をいっとう大切にするタイプで、出来が悪くても一所懸命がんばる奴らが大好きで、そういう連中に「どうせやってもむだじゃん」と言うぼくのが大嫌いだ。

* 中田……世界で活躍していたサッカー選手

* 3年B組金八先生……何事にも熱心に取り組む先生が主人公のテレビドラマ

むだなことに時間をかけるよりは、発想を変えて別のことにチャレンジしたほうが、あいつらにとつても得だと思うけど、そんなのを言いだしたら松原先生によけい嫌われてしまうだろう……と、そういうふうには先回りして考えるのも、やっぱり嫌われるんだろうな、あのオバサンには。

六月の保護者会の個人面談で、先生はママに言いたい放題だった。妙におとなびているとか、醒めているとか、コドモらしくないとか、こまつしやくなれているとか、ゴーマンだとか、一人っ子は協調性がないから困ったものだとか……。仕上げの脅し文句は、

「このままだと、中学に入るとイジメに遭いますよ」。

ママはきつと、それにショックを受けて、ビびったんだろう。

「ねえ、圭ちゃん、自然の中で過ごすのって、ぜーったいにいいことなのよ。今の社会がおかしな方向に進んでるっていうのもわかるから」

「(②)」

「もう、屁理屈言わないの。とにかく、いいわね、パパだって賛成してるんだから」

ママは、ねえ、とパパに話を振った。すぐそうやって勝手にひとの意見を決める。屁理屈よりよっぽどタチが悪いと思う。

「土曜日の朝集合で、月曜日の朝に解散だろ？ 七月中は休みとれないんだよなあ」

パパは気乗りしない声で言った。そうそうそう、とぼくも心の中で応援した。ぼくだって週末は忙しい。塾の夏期講習があるし、毎週日曜日は模試だ。

パパは面倒くさそうにパンフレットのページをめくった。

「二日や三日キャンプしたからって、性格なんてそう簡単には変わら……」

「ない」が、聞こえなかった。

パパは急に真剣な顔になった。パンフレットに書いてあるコピーをじつと見つめ、うーん、と低くうなった。

（おとうさんの背中が、ひとまわり大きくなった）

ヤバイ——と思った。矛盾のかたまりのようなパパは、ロマンのかたまりでもある。パパは顔を上げて、ちょっと力んで言った。

「なあ圭太、たまには男同士、星でものんびり見るか。気持ちいいぞお」

③……でも、パパ、仕事が忙しいんでしょ？」

「会社なんてどうにでもなるさ。ママの言うとおりだよ。圭太も五年生なんだから、もうちょっとワイルドにならなきゃな。このままじゃオタクになっちゃうぞ」

ワイルドと来たか、ワイルドと。オタクの意味もちよつとはき違えているみたいだ。

でも、こうなったら、パパは止まらない。ママも、「そうよ、パパ、たまには圭太にいいところ見せなきゃ」と張り切って言った。

単純なパパに、心配性のママ。二人はしゅっちゅうケンカをしているけど、たまに意見が合った時は抜群のコンビネーションを見せる。

「圭太、おまえプレステの新しいソフトが欲しいって言ってたよなあ」とパパが言うと、ママも「そろそろISDNにしようと思ってるんだけどなあ、どうしようかなあ」とぼくに目配せした。

メリット、あり。

松原先生の嫌いそうな言葉を、わざと思い浮かべた。そんな言葉を知ってることじたい、先生はむかつくだろう。でも、受験組の五年生をナメちゃいけない。ぼくはこの四月から、朝日新聞の『天声人語』を毎朝読んでいる。

「わかった、行くから」とぼくは言った。

④ママは「ほんと、計算高いんだから」と笑い、パパは「キャンプなんてひさしぶりだなあ」と両肩をぐるぐる回した。

(重松清 『サマーキャンプへようこそ』)

問一 — ①の意味としてもっともふさわしいものを選びなさい。

ア、一人の理解

イ、一番の理念

ウ、一応の理由

エ、一面の理性

問二 (②) に入る文としてもっともふさわしいものを選びなさい。

ア、中学に入ってぼくがいじめにあうと思っているの？

イ、子供が子供らしくすることがママはうれしいの？

ウ、逆に文明のありがたさが身に染みるんじゃない？

エ、キャンプに行ったらぼくの欲しい物を買ってくれるの？

問三 ― ③で「圭太」が考えていることを三十字程度で答えなさい。

問四 ― ④での「ママ」と「パパ」の心情としてもつともふさわしいものを選びなさい。

ア、ママは圭太が計算高いことを受験生の親として誇らしく思い、パパは仕事を休んでキャンプに行くということに後ろめたさを覚えている。

イ、ママは圭太がキャンプに行くことを素直に承知してくれたことを喜び、パパは久しぶりにキャンプに行くので、緊張して不安がっている。

ウ、ママは圭太が計算高いことを素直に喜ばずに苦々しく思い、パパは圭太と一緒にキャンプに行くという面倒臭さを振り払おうとしている。

エ、ママは圭太がキャンプに行くことをやっと承知してくれたことを喜び、パパは久しぶりのキャンプに行くので楽しみにしてはりきっている。

問五 「圭太」の性格としてふさわしいものを二つ選びなさい。

ア、常に反抗的な態度や考えをすることはんこうてきでしか自分という人間を表すことができない性格。

イ、物事を行う時に過程かていよりも結果のことを考えてしまいむだな事をしたがらない性格。

ウ、周りの友だちやママやパパに気を遣つかい、自分の考えを口に出して言うことができない性格。

エ、一人でいることが好きで、周りの友だちやパパやママとも一緒に行動することを嫌がる性格。

オ、自分のルックスやクールなところが他の人より優れていると考える自信過剰かじょうな性格。

問六 ……について、「圭太」がこのように考える理由を次のようにまとめました。(①) (②) (③)に入るもつともふさわしいことばをぬき出さない。

「男の子にとっていちばん大切なのは、たくましさなんだから」とあたかも正しいことのように

ママは言っているが、松原先生が「圭太には(①)がなく、(②)らしくない」と言った

ことで、(③)の中で生活するキャンプを勧めすすめていると思っおもっているから。

〔三〕 次の文章を読み、後の問に答えなさい。（ 、 や 。 など一字とします）

最近、国際協力の現場で働く人たちや発展途上国の開発問題を研究する人たちの間で平和構築という言葉がよく使われています。平和構築とは何でしょうか？ 平和を守る、維持することとは違う意味合いが含まれているのでしょうか？ 構築という言葉には①積極的な意味合いが込められています。従来、平和は単に「戦争の無い状態」と理解されてきました。そして平和を考えると、この場合は、戦争が起こりそうになった時、いかにそれを回避するかを考えることでありました。ただ単に戦争がない状態は「消極的平和」と呼ばれています。これに対して、「積極的平和」という考え方があります。「積極的平和」は平和を脅かす要因が社会から無くなった状態です。平和構築は平和を脅かす要因を排除していく姿勢であると言えます。それでは、②平和を脅かす要因とは何でしょうか？

国際連合の専門機関であるユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は「戦争は人の心から生まれる。よって人の心に平和の砦を築かなければならない」とその憲章で訴えています。教育はこれからの社会を背負って生きていく子どもたち（そして大人たちも）が、この平和の砦を築くために必要な、態度、知識、技能を身につけることを可能にする重要な役割を持っていると言えます。

しかしながら、残念なことに教育は人々を戦争に駆り立てる役割も果たしてきました。例えば、日本の戦前の軍国教育と世界各地の紛争国で行われている教育の間には多くの共通点が見出せます。これらの教育では、自国や自民族の優越性を強調し、他国や他民族への恐怖心をあおる傾向が見られます。バルカン半島の旧ユーゴスラビア諸国では現在もこのような教育を行っている学校があります。

また、教育現場で暴力的表現が日常的なものになっている場合、子どもはどのような世界観を持つことになるのでしょうか？ イラクでは「私は手榴弾^{てりやうだん}三個、あなたは手榴弾五個を持っています。合計私たちは何個持っているでしょう」、アフガニスタンでは「私は敵を二人、あなたは一人殺しました。合計何人殺したでしょう」といった表現がほんの少し前まで小学校の算数の教科書で使われていました。

教育を受ける機会の（③）性にも紛争につながる危険性があります。「構造的暴力」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。殴る蹴るといった行為が「直接的暴力」と呼ばれるのに対し、「構造的暴力」は自らが望まない不利益を得てしまう社会構造を指します。バルカン半島に位置するコンゴでは、住民の大多数を占めるアルバニア人が、少数派であるセルビア人の言語で教育を受けることを強制され、そのことに反発したアルバニア人たちは一〇年もの間、民家などでアルバニア語による教育を続けました。このような差別が民族間の不信や憎悪^{ぞうお}を生んでゆき、コンゴ紛争が起きるきっかけを作ったのです。

核戦争により人類を滅亡^{めつぼう}に導く危険性を伴った東西冷戦が終結したとき、多くの人が世界は平和になるという希望を持ちました。しかし、実際はコンゴ紛争、ユーゴスラビア内戦、東チモール紛争、コンゴ紛争など、世界のあらゆる場所で紛争が発生しました。東西冷戦が民主主義と共産主義というイデオロギー（観念形態）の対立であったのに対し、これら紛争の多くは国内の宗教、言語、文化といった民族性の違いが対立構造に絡^{から}んでいます。④また、軍人だけでなく、民間人も武力衝突^{しきりくつ}の当事者となったのが特徴です。これらの紛争の原因は、暴力の日常化、不公平な社会構造に対する不満、そして「（⑤）」と認識した相手に対する恐れや畏怖^{いふ}、不信や憎悪の感情がエスカレートしたためだと言われています。もう一つ、忘れていけないのは貧困です。冷戦後起きた紛争の多くは、貧しい国や地域で起こっています。貧困は、人間を絶望的な心理状態にさせます。テロもまた貧困が原因の一つと理解されてい

ます。

私は教育分野で国際協力・開発援助えんじょの実務に関わってきました。前述のように教育は平和を脅かす要因にもなりかねませんが、本来、人が学ぶ理由は、平和で豊かな人生を送りたいからです。(⑥)は、適切な形で提供されれば平和を積極的に構築していく可能性を持っています。私は、人々が貧困を抜け出すための能力を身につけ、多様な文化と共存・共生し、公正な社会を築き上げるために最も大事な役割を果たすのは教育だと考えています。教育は単に教育レベルを上げるというだけでは「平和構築」に十分ではありません。現に紛争国家の中には、旧ユーゴスラビアのように比較的民衆の教育レベルが高かったところもあります。教育の中心が問われているのです。

発展途上国の教育、およびそれに対する国際協力の研究を「国際教育開発」と呼んでいます。ちなみに、似たような呼称で「開発教育」という分野がありますが、これは学校で開発問題について学ぶ教育のことを指しており、国際教育開発とは違います。国際教育開発の内容は多岐にわたります。日本など先進国の教育だけを想定しては、その本質を理解することは出来ません。なぜなら、発展途上国の教育は貧困問題と密接に関連していますし、それぞれの国は異なった社会・文化背景をもっており、教育はそれらに影響えいを受けているからです。そして、多くの発展途上国は平和構築が切実な課題となっているのです。

国際教育開発は、政治学、教育学、経済学その他多様な領域を含んでいると言えます。そのため、研究者の切り口も様々です。例えば、教育への投資とその効果の関係を数値で説明しようとするのは経済学のアプローチですし、学校と地域社会文化・慣習の関係を調べるのは社会学のアプローチと言えます。また、教室内の子どもの変化や先生の教え方に注目するのは教育学の領域でしょう。アプローチが何であれ、複合的な視点を持つことを忘れてはいけません。あらゆる分野に関心を持つことが問題の適切な理解につなが

がります。

(小松太郎 「平和を築くための教育とは」『いま、この研究がおもしろい』より)

問一 — ①について、ここでいう「積極的」とは何をどうすることですか。解答用紙にしたがって十五字でぬき出しなさい。

問二 — ②「平和を脅かす要因」とありますが、要因としてふさわしくないものを選びなさい。

ア、教育 イ、貧困 ウ、暴力 エ、民族

問三 (③) に入るもっともふさわしいことばを選びなさい。

ア、不平等 イ、他民族 ウ、少数 エ、民族

問四 — ④について、これはどのような「教育」が原因なのでしょう。それを説明している一文を——④以前から探し、はじめの五字をぬき出しなさい。

問五 (⑤) に入るもつともふさわしいことばを選びなさい。

ア、違う

イ、弱い

ウ、強い

エ、不利

問六 (⑥) に入るもつともふさわしい漢字二字のことばをぬき出しなさい。

問七 本文の内容としてふさわしいものを二つ選びなさい。

ア、紛争は発展途上国に起こることで共通しているので、先進国が何よりも優先して経済支援しえんをすることが重要である。

イ、教育にはそれぞれの国の文化や社会のあり方が反映しているので、平和である先進国の教育方法を用いるべきである。

ウ、平和を作り出すための教育は、様々な国の文化の違いを認めつつ、多様な研究領域を活用して行うべきである。

エ、国際教育開発は先進国が行っている教育を手本にするものだから、途上国はいち早く貧困問題を解決すべきである。

オ、争いがなくならない世の中で、平和はどこかに存在するのではなく、教育によつて形作られてゆくものである。

入
学
試
験
問
題

聖學院中學校

座席番号

名前

一			
問二		問一	
⑥	①	⑥	①
⑦	②	⑦	②
⑧	③	⑧	③
⑨	④	⑨	④
⑩	⑤	⑩	⑤

[illegible]